

学校再編

合意が得られない場合は

統合せず残ることも考えられる



黒沢一成 議員
(無所属)

問 児童数の減少から、学校統合の方向で各学区での説明会が2度行われた。参加者の反応は児童数の今後の推移を知らされると統合やむなしが多いように感じる。一方で学校再編は町づくりの問題でもあると慎重な考えもあった。今後の進め方は。

佐々木教育長 各学区での説明会では、再編後の学校と地域活動との関わりを心配する声が寄せられた。学校は地域の中心としての役割を担ってきたことから、学校再編の合意がなされた後は、各学区での教育振興運動の在り方等について検討しながら、子どもと地域との関わりが継続されるよう、関係者と協議してい



児童数が少なく、選手を出せない種目もありました
(小学校陸上記録会 リレー競技)

問 3回目の説明会で合意が得られない地区は今回の統合には入らないのか、それとも合意が得られるまで説明会を続けるのか。

箱山教育次長 ことし中に方向性を決めたい。3回目を10月、必要なら4回目を12月に行いたい。合意が得られない学校は統合せず残ることも考えられる。

災害公営住宅に談話室を

新たな設置は考えていない

問 高齢者の引きこもり対策として、集合・戸建ての公営住宅がまとまっている地区には要望を聞き、談話室のない災害公営住宅に談話室を設置できないか。あるいは、住民が自ら設置する場合の補助を設けては。

の引きこもり対策については、関係機関等と情報を共有しながら、引き続き対応していく。

佐藤町長 災害公営住宅の集会所は、県営は豊間根、北浜、大沢、織笠。町営は山田中央団地、柳沢第1団地、長崎第2団地に設置している。新たな談話室の設置は現時点では考えていない。また、補助金の支出についても同様である。高齢者

問 公民館等をより利用しやすく、日中にぶらりとお茶のみに行けるような場にできないか。

教育長 地区により管理運営の仕方は異なるが、基本的には事前申請・許可されたものについて、管理人が責任を持って対応している。地区のコミュニティの場として、気軽に利用していただきたいが、自由に利用できる施設ではない。